



www.philips.com/welcome

JA ユーザーマニュアル	1
カスタマサポートと保証	13
トラブルシューティング & FAQ	16

PHILIPS

目次

1. 重要	1
1.1 安全のための注意事項とメンテナンス.....	1
1.2 表記の説明.....	2
1.3 製品と梱包材料の廃棄.....	3
2. モニタをセットアップする	4
2.1 取り付け.....	4
2.2 モニタを操作する.....	5
2.3 ベーススタンドおよびベースを取り外します.....	8
3. 技術仕様	9
3.1 解像度とプリセットモード.....	11
4. 電源管理	12
5. カスタマサポートと保証	13
5.1 Philipsのフラットパネルモニタ画面素欠陥ポリシー.....	13
5.2 カスタマサポートと保証.....	15
6. トラブルシューティング& FAQ	16
6.1 トラブルシューティング.....	16
6.2 一般FAQ.....	17

1. 重要

この電子ユーザーズガイドは、Philips モニタを使用するユーザーを対象にしています。モニタを使用する前に、本ユーザーマニュアルをよくお読みください。モニタの操作に関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips 保証は、その操作指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

⚠ 警告

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電気事故、機械事故につながる可能性があります。

コンピュータモニタを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

取り扱い

- モニターを直射日光やきわめて明るい光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。これらの環境に長時間さらされると、モニタが変色したり損傷する結果を招きます。
- 通気口に落下する物体を取り除き、モニタの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- モニタの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでモニタの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源ケーブルやDC電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。
- 必ず、本製品に同梱されている電源コードを使用してください。電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください
- 操作中、モニタに強い振動を与えたり、衝撃を加えないでください。

- 操作または輸送中、モニタを強く打ったり落としたりしないでください。
- 本製品は必ずアース接続をしてください。
- 背面カバーを取り外すと、帯電部に手が届くようになります。
- 修理を行う前に、常に壁ソケットから主電源のプラグを抜いてください。専門技術者以外は絶対にカバーを外さないでください。この装置には、危険な電圧が含まれています。
- ACアダプタを使用する際は、本製品に同梱されているAC/DCアダプタのみを使用してください
- アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。

メンテナンス

- モニタを損傷の可能性から保護するために、LCDパネルに過剰な圧力をかけないでください。モニタを動かすときは、フレームをつかんで持ち上げてください。またLCDパネルに手や指を置いてモニタを持ち上げないでください。
- 長時間使用しない場合は、電源のプラグを抜いてください。
- 汚れのふき取りには、柔らかい布をご使用ください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してモニタを洗淨することは絶対におやめください。
- 感電や装置の完全な損傷の原因となるため、モニタを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- モニタが濡れた場合は、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- モニタに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。異物や水を取り除き、カスタマサポートにご連絡ください。

1. 重要

- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でモニタを保管したり、使用したりしないでください。
- モニタの最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る環境でモニタを使用してください
 - 温度：0～40°C 32～104°F
 - 湿度：20～80% RH

焼き付き/ゴースト像に関する重要な情報

- モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。静止コンテンツを表示している場合、定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。
- 「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにする、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

⚠ 警告

スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

修理

- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- マニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。（「カスタマケアセンター」のページを参照してください）
- 輸送情報については、「技術仕様」を参照してください。
- 直射日光下の車内/トランクにモニタを放置しないでください。

ⓘ 注

モニタが正常に作動しない場合、または本書に記載された手順が分からない場合、カスタマケアセンターにお問い合わせください。

1.2 表記の説明

次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

注、注意、警告

本書を通して、テキストのかたまりにはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。これらのかたまりには注、注意、警告が含まれます。次のように使用されます。

ⓘ 注

このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムを十分に活用できる助けとなるものです。

⚠ 注意

このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法を教える情報を示します。

⚠ 警告

このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を教えてくれます。警告には代替の形式で表示されるものもあり、アイコンが付かない場合もあります。かかる場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。

1.3 製品と梱包材料の廃棄

廃電気電子機器-WEEE



This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/ EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new monitor contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old monitor and packing from your sales representative.

Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the important of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

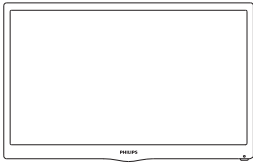
To learn more about our recycling program please visit

<http://www.philips.com/a-w/about/sustainability.html>

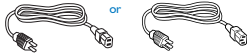
2. モニタをセットアップする

2.1 取り付け

1 パッケージに含まれるもの



* CD



電源ケーブル



VGA ケーブル

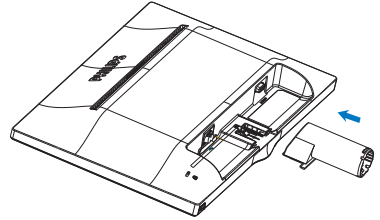
* 国によって異なる

注

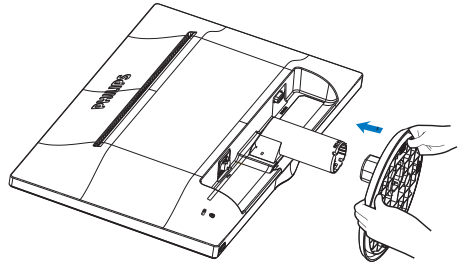
販売する国・地域により付属されるケーブルが異なる場合がございます。ケーブル付属は別紙のケーブル付属リストをご参照ください。

2 ベーススタンドの取り付け

1. 画面にひっかかり傷が付いたり損傷したりしないように平らな場所に柔らかい布などを敷いて画面を下にして置きます。
2. ベース支柱をモニターに取り付け、カチッと固定されるまでスライドさせます。

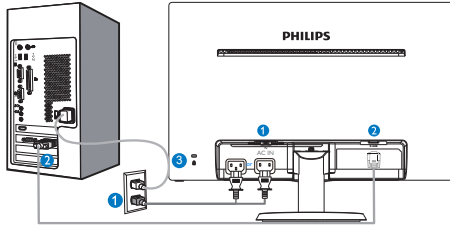


3. 両手でモニターのベーススタンドを持って、ベーススタンドをベース支柱にしっかりと差し込みます。



2. モニタをセットアップする

3 PCに接続する



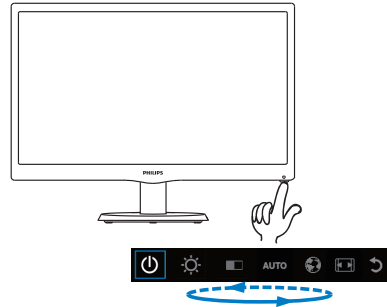
- 1 AC電源入力
- 2 VGA入力
- 3 Kensingtonロック

PCに接続する

1. 電源コードをモニタ背面にしっかり接続します。
2. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜きます。
3. モニタに信号ケーブルを、コンピュータ背面のビデオコネクタに接続します。
4. コンピュータとモニタの電源コードをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータとモニタの電源をオンにします。モニタに画像が表示されたら、は完了です。

2.2 モニタを操作する

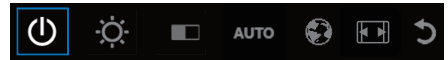
1 製品を正面から見たところ









2 オンスクリーンディスプレイの説明

オンスクリーンディスプレイ (OSD)とは

オンスクリーンディスプレイ (OSD) はすべての Philips LCD モニタに装備されています。これにより、ユーザーはオンスクリーンの指示ウィンドウを通して直接画面パフォーマンスを調整したりモニタの機能を選択したりできます。オンスクリーンディスプレイインターフェースは、以下のように表示されます。

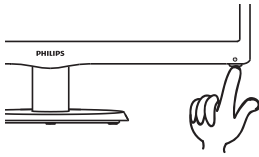


	モニタのスイッチのONとOFFを切り替えます。
	輝度レベルを調節します。
	コントラストレベルを調節します。
AUTO	自動的にモニターを調整します。
	言語の調整
	表示形式の変更。
	OSDの終了

2. モニタをセットアップする

1つのキーでOSDを調整する方法は？

1. 前面ベゼルの下にあるキーには1つの機能があります。電源のオン/オフを切り替え、OSDメニュー設定を変更できます。



2. 機能があります。電源のオン/オフを切り替え、OSDメニュー設定を変更できます。

3. 前面ベゼルの下の子をもう一度押し、OSDメニューに入ります。



4. これで機能を選択できます。すばやく下のキーを繰り返し押します。キーを押すと、青いボックスが右に移動します。下のキーを離すと、選択する項目が青いボックスで強調されます。選択は1方向のループになっており、常に1方向に移動し、メニューの最初に戻ってきます。

5. 青いボックスは選択した機能で3秒ほど留まります。機能アイコンが3回点滅し、OSDの第1層に表示されている選択肢を確定し、有効にします。

6. 言語を選択するには、下のキーを押し、OSDメニューの地球儀を選択し、有効にしてください。言語の選択肢がメニューに表示されます。下のキーを繰り返し押し、言語の選択肢をスクロールできます。希望の言語を青いボックスで囲むと、それが選択され、有効になります。

7. 輝度やコントラストを調整するには、下のキーを押してそれを選択し、有効にしてください。下のキーをもう一度押し、調整します。選択は1方向のループになっており、常に1方向に移動し、メニューの最初に戻ってきます。

OSDメニュー

以下は、オンスクリーンディスプレイのメニュー一覧です。後でさまざまな調整を行いたいときに、こちらを参照してください

Main menu	Sub menu
Power off	
Brightness	0~100
Contrast	0~100
Auto	
Language	English, Español, Français, Deutsch, Italiano, Português, Русский, 简体中文, Türkçe, Nederlands, Svenska, Suomi, Polski, Čeština, 한국어, 日本語, Magyar, Українська, Português do Brazil, Ελληνική (προαιρετική), 繁體中文(可選)
Picture Format	Wide Screen, 4:3
Exit	

2. モニタをセットアップする

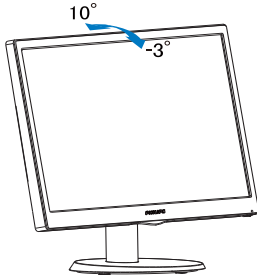
3 解像度アラート

このモニタは、そのネイティブ解像度1366 × 768@60Hzで最適なパフォーマンスを発揮するように設計されています。モニタが異なる解像度で作動しているとき、画面にアラートが表示されます。Use 1366 × 768@60Hz for best results(1366 × 768@60Hzを使用してください。)解像度アラートの表示は、OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューのSetup(セットアップ)からオフに切り替えることができます。

ネイティブ解像度警報の表示は、OSD (オンスクリーンディスプレイ)メニューのSetup(セットアップ)からオフに切り替えることができます。

4 物理的機能

角度調整

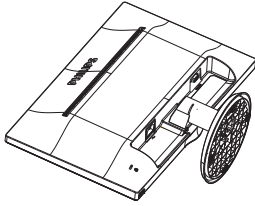


2.3 ベーススタンドおよびベースを取り外します

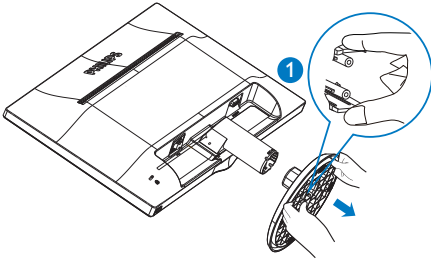
1 ベーススタンドを取り外します

モニターベースを分解する前に、損傷や怪我を防止するために下記の指示に従ってください。

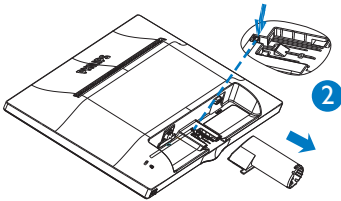
1. 画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように平らな場所に柔らかい布などを敷いて画面を下にして置きます。



2. 固定クリップを押して、ベーススタンドをベース支柱から取り外します。

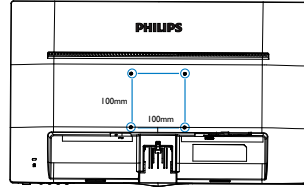


3. リリースボタンを押してベース支柱を外します。




注

このモニターは、100mm × 100mm VESA 準拠のマウントインタフェースが利用できます。



3. 技術仕様

画像 / ディスプレイ	
モニタパネルの種類	TFT - LCD
バックライト	LED
パネルサイズ	15.6" 幅 (39.6 cm)
縦横比	16:9
画素ピッチ	0.252 × 0.252 mm
輝度	220 cd/m ²
コントラスト比 (標準)	500:1
応答時間 (標準)	12ms
最適解像度	1366 × 768 @ 60Hz
表示角度	90° (H) / 60° (V) @ C/R > 10
表示色	262K
垂直リフレッシュレート	58 - 62Hz
水平周波数	30kHz - 60kHz
sRGB	あり
入出力	
信号入力コネクタ	VGA (アナログ)
入力信号	セパレート同期、緑で同期
ユーザーインターフェース	
ユーザーコントロールキー	
OSD 言語	英語、ドイツ語、スペイン語、ギリシャ語(オプション)、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ウクライナ語、簡体字中国語、繁体字中国語(オプション)、日本語、韓国語
その他	Kensington ロック
プラグアンドプレイ互換性	DDC/CI、sRGB、Windows 10/8/7
スタンド	
チルト	-3° / +10°

Power			
消費エネルギー	100VAC、50Hz	115VAC、60Hz	230VAC、50Hz
通常操作	6.52 W (標準)	6.52 W (標準)	6.51 W (標準)
スリープ (スタンバイ)	<0.5 W (標準)	<0.5 W (標準)	<0.5 W (標準)
オフ	<0.5 W (標準)	<0.5 W (標準)	<0.5 W (標準)
熱放散 *	AC 入力電圧 100VAC、50Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常操作	22.25 BTU/ 時 (標準)	22.25 BTU/ 時 (標準)	22.22 BTU/ 時 (標準)
スリープ (スタンバイ)	<1.71 BTU/ 時(標準)	<1.71 BTU/ 時(標準)	<1.71 BTU/ 時(標準)
オフ	<1.71 BTU/時(標準)	<1.71 BTU/ 時(標準)	<1.37 BTU/ 時(標準)

3. 技術仕様

寸法	
製品 (スタンド付き) (幅 × 高さ × 奥行き)	375×300×141 mm
製品 (スタンドなし) (幅 × 高さ × 奥行き)	375×233×47 mm
製品 (梱包付き) (幅 × 高さ × 奥行き)	432×301×108 mm
重量	
製品 (スタンド付き)	1.36kg (163V5LSB2) 0.98kg (163V5LSB23)
製品 (スタンドなし)	1.24 kg (163V5LSB2) 0.85kg(163V5LSB23)
製品 (梱包付き)	2.2kg(163V5LSB2) 1.715kg(163V5LSB23)

環境条件	
温度 (操作時)	0°C ~ 40°C
相対湿度 (操作時)	20% ~ 80%
気圧 (操作時)	700 ~ 1060hPa
温度範囲 (非操作時)	-20°C ~ 60°C
相対湿度 (非操作時)	10% ~ 90%
気圧 (非操作時)	500 ~ 1060hPa

環境およびエネルギー	
ROHS	対応
梱包	100% リサイクル可能
準拠と基準	
適合規格	J-MOSS/VCCI, ISO9241-307, EPA
キャビネット	
色	ブラック
仕上げ	テクスチャー

注

1. EPEAT ゴールドまたはシルバーは、Philips が製品を登録している場合のみ有効です。お住まいの国の登録状況については、www.epeat.net にアクセスしてください。
2. このデータは事前の通知なしに変更することがあります。パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。

3.1 解像度とプリセットモード

最大解像度

1366 × 768@60Hz

水平周波数 (kHz)	解像度	垂直周波数 (Hz)
31.47	640 × 480	59.94
37.88	800 × 600	60.32
48.36	1024 × 768	60
44.77	1280 × 720	59.86
47.71	1366 × 768	59.79

注

ディスプレイは1366 × 768@60Hzの解像度で最高の画像を表示します。最高の表示品質を得るには、この解像度推奨に従ってください。

4. 電源管理

PCにVESA DPM 準拠のディスプレイカードを取り付けているか、またはソフトウェアをインストールしている場合、モニタは使用していないときにその消費電力を自動的に抑えることができます。キーボード、マウスまたはその他の入力デバイスからの入力が発見されると、モニタは自動的に「呼び起こされます」。次の表には、この自動省電力機能の電力消費と信号が示されています。

163V5L:

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	水平 同期	垂直 同期	使用電力	LED 色
アクティブ	オン	あり	あり	6.52 W (標準) 6.58 W (最大)	白
スリープ	オフ	なし	なし	0.5 W (標準)	白 (点滅)
スイッチ オフ	オフ	-	-	0.5 W (標準)	オフ

次のセットアップは、このモニタの消費電力を測定するために使用されます。

- ネーティブ解像度：1366 × 768
- コントラスト：50%
- 色温度：6500k (完全な白パターンの場合)

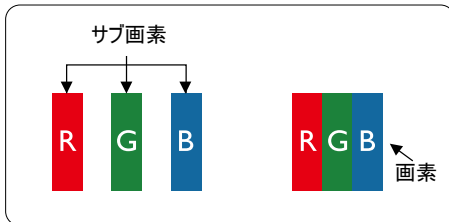
注

このデータは事前の通知なしに変更することがあります。

5. カスタマサポートと保証

5.1 Philipsのフラットパネルモニタ画素欠陥ポリシー

Philipsは最高品質の製品を提供するために懸命に努力しています。当社は、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を使用しています。しかしながら、フラットパネルモニタで使用されるTFTモニタパネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philipsでは保証期間中であれば、欠陥があるモニタを修理または交換することを保証します。この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、それぞれの種類について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証期間中の修理または交換の資格を取得するには、TFTモニタパネルの画素欠陥数がこれらの受け入れられるレベルを超えている必要があります。例えば、モニタのサブ画素の0.0004%を超えただけで欠陥となります。さらに、Philipsは特定の種類または組み合わせの画素欠陥については、他社より顕著に高い品質基準を設けています。このポリシーは全世界で有効です。



画素とサブ画素

画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の3つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3つの色の付いたサブ画素が1つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3つの色の付いたサブ画素は1つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ

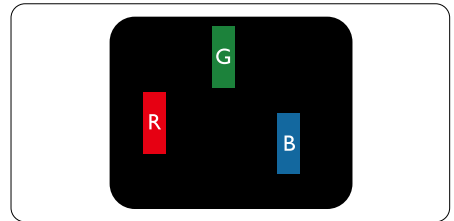
画素のその他の組み合わせは、他の色の1つの画素として表示されます。

画素欠陥の種類

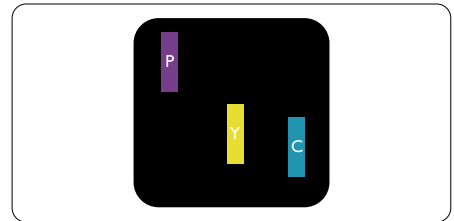
画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には2つのカテゴリがあり、各カテゴリにはいくつかの種類の子画素欠陥があります。

明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表示されます。つまり、明るいドットはモニタが暗いパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、明るいドット欠陥の種類を紹介します。

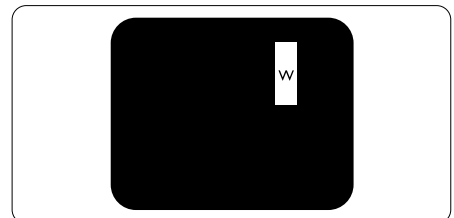


1つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。



2つの隣接する点灯サブ画素：

- 赤 + 青 = 紫
- 赤 + 緑 = 黄
- 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)



5. カスタマサポートと保証

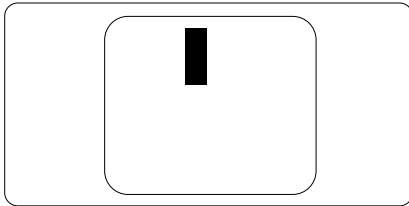
3つの隣接する点灯サブ画素 (1つの白い画素)。

注

緑の明るいドットが近接したドットより30パーセント以上明るい場合、赤または青の明るいドットは近接するドットより50パーセント以上明るくなっている必要があります。

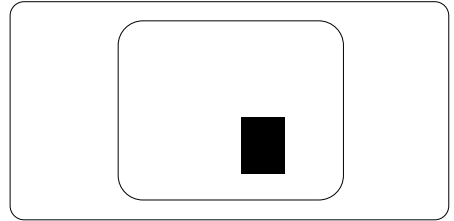
黒いドット欠陥

黒いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、暗いドットはモニタが明るいパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、黒いドット欠陥の種類を紹介します。



画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとも目立つため、Philipsでは画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。



画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、PhilipsフラットパネルモニタのTFTモニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	3
2つの隣接する点灯サブ画素	1
3つの隣接する点灯サブ画素 (1つの白い画素)	0
2つの明るいドット欠陥の間の距離*	>15mm
すべての種類の明るいドット欠陥の総数	3
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	5つ以下
2つの隣接する暗いサブ画素	2つ以下
3つの隣接する暗いサブ画素	0
2つの黒いドット欠陥の間の距離*	>15mm
すべての種類の黒いドット欠陥の総数	5つ以下
ドット欠陥の総数	受け入れられるレベル
すべての種類の明るいまたは黒いドット欠陥の総数	5つ以下

注

- 1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥
- このモニタはISO9241-307準拠です (ISO9241-307 : 電子式画像表示に対するエルゴノミック要件、分析および準拠性テスト方法)。
- ISO9241-307は、以前ISO13406規格として知られたものの後継標準で、国際標準化機構 (ISO) によって導入されました。2008-11-13付け。

5.2 カスタマサポートと保証

Note

Please refer to Important Information manual for regional service hotline, which is available on the Philips website support page.

6. トラブルシューティング & FAQ

6.1 トラブルシューティング

このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

1 よくある問題

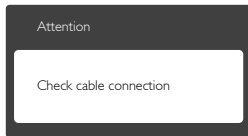
写真が表示されない (電源LEDが点灯しない)

- 電源コードがコンセントとモニター背面に差し込まれていることを確認してください。
- まず、モニター前面の電源ボタンがオフ位置にあることを確認してから、オン位置まで押します。

写真が表示されない (電源LEDが白くなっている)

- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。
- モニターケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります

画面に次のようなメッセージが表示される



- モニターケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。(また、クイックスタートガイドも参照してください)。
- モニターケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。

AUTO (自動) ボタンが機能しない

- 自動機能はVGA-Analog (VGAアナログ) モードでのみ適用可能です。結果が満足のゆくものでない場合、OSDメニューを通して手動調整を行うことができます。

注

Auto (自動)機能は、DVI-Digital (DVIデジタル)信号モードでは必要ないため適用されません。

煙やスパークの明らかな兆候がある

- いかなるトラブルシューティング手順も行わないでください
- 安全のため、直ちに主電源からモニターの接続を切ってください
- 直ちに、Philipsカスタマサポートに連絡してください。

2 画像の問題

画像が中央に表示されない

- OSDメインコントロールで「Auto (自動)」機能を使用して、画像位置を調整してください。
- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase/Clock (フェーズ/クロック)を使用して、画像位置を調整してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像が画面で揺れる

- 信号ケーブルがグラフィックスボードやPCにしっかり、適切に接続されていることを確認してください。

垂直フリッカが表示される



- OSDメインコントロールで「Auto (自動)」機能を使用して、画像を調整してください。
- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase/Clock (フェーズ/クロック)を使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

水平フリッカーが表示される



- OSDメインコントロールで「Auto (自動)」機能を使用して、画像を調整してください。
- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase/Clock (フェーズ/クロック)を使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像がぼやけたり、不明瞭に、または暗く見える

- ・ オンスクリーンディスプレイでコントラストと輝度を調整してください。

電源がオフになった後でも、「後イメージ」、「焼き付き」または「ゴースト像」が残る。

- ・ 長時間静止画像を連続して表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。
- ・ モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
- ・ LCDモニタが変化しない静止コンテンツを表示している場合、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。
- ・ スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。上で触れた損傷は保証には含まれません。

画像が歪んで表示される。テキストが不鮮明である、またはぼやけて見える。

- ・ PCのディスプレイ解像度をモニタの推奨される画面のネイティブ解像度と同じモードに設定してください。

緑、赤、青、暗い、白いドットが画面に表示される

- ・ ドットが消えずに残るのは今日の技術で使用される液晶の通常の特徴です。詳細については、画素ポリシーを参照してください。

「電源オン」ライトが強すぎて、邪魔になる

- ・ OSDのメインコントロールの電源LEDセットアップを使用して、「電源オン」ライトを調整できます。

詳細については、Philipsカスタマサポートにお問い合わせください。

6.2 一般FAQ

Q1: モニタを取り付けるとき、画面に「Cannot display this video mode (このビデオモードを表示できません)」というメッセージが表示された場合、どうすればいいのですか？

- A:** このモニタの推奨される解像度：
1366 x 768@60Hz.
- ・ すべてのケーブルを抜き、PCを以前使用していたモニタに接続します。
 - ・ Windowsのスタートメニューで、設定/コントロールパネルを選択します。コントロールパネルウィンドウで、画面アイコンを選択します。画面のコントロールパネル内部で、「設定」タブを選択します。設定タブの下の、「デスクトップ領域」とラベルされたボックスで、スライダを1366 x 768画素に動かします。
 - ・ 「詳細プロパティ」を開き、リフレッシュレートを60Hzに設定し、OKをクリックします。
 - ・ コンピュータを再起動し、2と3の手順を繰り返してPCが1366 x 768@60Hzに設定されていることを確認します。
 - ・ コンピュータを停止し、古いモニタを取り外し、Philips LCDモニタを再接続します。
 - ・ モニタの電源をオンにしてから、PCの電源をオンにします。

Q2: LCDモニタの推奨されるリフレッシュレートは何ですか？

- A:** LCDモニタの推奨されるリフレッシュレートは60Hzです。画面が乱れた場合、75Hzまで設定して乱れが消えることを確認できます。

Q3: CD-ROMの.infと.icmファイルは何のためのものですか？ドライバ(.infと.icm)はどのようにインストールできますか？

- A:** これらは、モニタ用のドライバファイルです。ユーザーマニュアルの指示に従って、ドライバをインストールしてください。モニタを初めてインストールするとき、モニタドライバ(.infと.icmファイル)またはドライバディスクを求められます。指示に下が手、このパッケージに含まれる(付属CD-ROM)を挿入してください。モニタドライバ(.infと.icm files)は、自動的にインストールされます。

- Q4: 解像度はどのように調整すればいいのですか？**
- A:** ビデオカード/グラフィックドライバとモニタは使用可能な解像度を一緒に決定します。Windows® コントロールパネルの下の「画面のプロパティ」で希望の解像度を選択できます。
- Q5: OSDを通してモニタを調整しているときに忘れた場合、どうなりますか？**
- A:** OK ボタンを押してから、「Reset (リセット)」を押すと、工場出荷時の設定になります。
- Q6: LCD画面はきつかけ傷への耐性がありますか？**
- A:** 一般に、パネル面に過度の衝撃を与えず、鋭いまたは先の尖った物体から保護するようにお勧めします。モニタを取り扱っているとき、パネルの表面に圧力や力がかかっていないことを確認してください。保証条件に影響が及ぶ可能性があります。
- Q7: LCD表面はどのようにして洗浄すればいいのですか？**
- A:** 通常洗浄の場合、きれいで、柔らかい布を使用してください。洗浄する場合、イソプロピルアルコールを使用してください。エチルアルコール、エタノール、アセトン、ヘキサンなどの溶剤を使用しないでください。
- Q8: モニタの色設定を変更できますか？**
- A:** はい、次の手順のように、OSD コントロールを通して色設定を変更できます。
- 「OK」を押してOSD (オンスクリーンディスプレイ)メニューを表示します
 - 「下矢印」を押してオプション「Color (色)」を選択し、「OK」を押して色設定に入ります。以下のように、3つの設定があります。
 1. Color Temperature (色温度) : 6500K 範囲で設定されている場合、パネルには「温かい、赤-白色調」と、また9300K温度範囲では、「冷たい青-白色調」というメッセージが表示されます。

2. sRGB : これは、標準設定で、異なるデバイス (例えば、デジタルカメラ、モニタ、プリンタ、スキャナなど)間 で色が正しく変換されていることを確認します
3. User Define (ユーザー定義) : ユーザーは赤、緑、青色を調整することで、お気に入りの色設定を変更できます。

注

加熱されている間、物体によって放射された光の色の測定。この測定は、絶対温度目盛り (ケルビン度)によって表されます。2004Kなど低いケルビン温度は赤で、9300Kなどの高い温度は青です。6504Kでの中間温度は、白です。

Q9: LCDモニタをPC、ワークステーション、Macに接続できますか？

- A:** はい、できます。すべての Philips LCD モニタは、標準の PC、Mac、ワークステーションに完全に対応しています。Mac システムにモニタを接続するには、ケーブルアダプタが必要です。詳細については、Philips 販売店にお尋ねください。

Q10: Philips LCDモニタはプラグアンドプレイ対応ですか？

- A:** はい。モニタは Windows 10/8/7 でプラグアンドプレイに対応しています

Q11: LCDパネルの画像固着、または画像焼き付き、後イメージ、ゴースト像とは何ですか？

- A:** 長時間静止画像を連続して表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」は LCD パネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。

LCD モニタが変化しない静止コンテンツを表示している場合、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。

 **警告**

ひどい「焼き付き」または「後イメージ」または「ゴースト像」症状は消えずにのこり、修理することはできません。これらによる損傷は保証には含まれません。

Q12: 私のディスプレイがシャープなテキストを表示せず、ぎざぎざのある文字を表示するのはなぜですか?

A: LCD モニタは 1366 × 768@60Hz のネイティブ解像度で最高の機能を発揮します。最高の表示結果を得るには、この解像度を使用してください。



© 2016 Koninklijke Philips N.V. All rights reserved.

PhilipsとPhilips Shield EmblemはKoninklijke Philips N.V.の登録商標で、Koninklijke Philips N.V.からライセンスを受けて使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン: M5163V1T